

社団法人日本獣醫協會 設立趣意書

文化的民主的日本を再建することは、敗戦後の我國に課せられた使命でありまして、其の重要な一部面としての畜産の振興と公衆衛生向上の爲、獣醫學及び獣醫事衛生の飛躍的な貢献が強く要請されることは申す迄もありません。

これが爲には我國獣醫關係者が相互縦横に協力して其の總力を以て前記の要請に應えることが不可欠の要件であります。

然るに日本獣醫師會が今回法律を以て解散しました。このことは同會が獣醫師法によつて設立されてから約20年の間獣醫事衛生の改良發達に貢献し幾多の輝しい業績があつただけに、其の反面に於て最も強力廣汎な獣醫團體を失ひ協力の據點が消失したことは遺憾に堪えない次第であります。

前記の目的を達成する爲には獣醫關係出身者が職業、地位、學歷等を論ぜず、廣い構成を持つ自由な民主的團體を其の總意を以て新に設立することが絶對緊急となりましたので、このたび我々發起人等は全國的に同志を糾合し、別冊定款の社団法人日本獣醫協會を創立し、斯界の期待に添うことになりました。

新團體は廣く獣醫關係の地方的の諸團體、獣醫技術者、學生等を以て自由加入の會員とし、其の構成に依つて社會的福祉と公衆衛生の増進と、獣醫技術者全般の社會的地位の向上を目的とし、事業として獣醫學術、獣醫事及び獣醫業の發展並びに會員の親睦及び厚生等を活潑に遂行する計畫であります。

冀くは全國各職域の關係者及び其の團體におかれては此の趣旨に御賛同下され、奮つて御入會あらんことを切望して歇まない次第であります。

昭和23年7月

發起人	鳥	村	虎	猪
	田	中	刃	雄
	榎	原	義	一
	堀	尾	正	朔
	山	本	文	陸郎